

【自己紹介】

皆さん、始めまして。城西大学経営学部 4 年の永井 郁充(ながい いくみ)と申します。私は現在、カナダの British Columbia 州（以下「BC 州」）にある Camosun College で約 4 ヶ月間の交換留学をしています。この留学だよりでは、私が異国の地でどのように生活しているかを皆さんにお届けしたいと思います。

【学校生活について】

はじめに、私の学校生活について紹介します。私が専攻している授業は English Language Development（以下「ELD」）といい、英語学の向上を目的としたコースを取っております。他にも、会計や歯科、看護や放射線などの、基本的な専攻から専門分野まで 35 以上のプログラムがありますが、これらのプログラムやコースを取るには、まずは ELD で一定以上の成績を取る必要があります。



8:30am-10:10am **Academic Communication Skills** →Speaking（話す）、Listening（聞く）

10:30am-12:10pm **Advanced English** →Reading（読む）、Writing（書く）

1:00pm-2:40pm **Grammar for Composition** →難しい文法や複雑な文法



曜日ごとに別の授業をとる日本とは異なり、これら上記 3 つの授業が毎日同じ時間に行われます。全ての授業がディスカッション中心です。私の感覚では、読み書きや文法は日本の教育でも学びますが、話す、聞く内容はとても新鮮かつ日本の教育には足りない部分だと感じております。”話す”に関しては PowerPoint などの資料を英語で作って英語で発表を行います。原稿は見られないので、自分の英語で発表を行わなければなりません。”聞く”に関しても日本のようにオーディオを聞くのではなく、話者や講師が実際に目の前で話すことを書き出したりノートにまとめたりします。

【課外活動について】

私はサッカーをしており、城西大学でも体育会サッカー部に所属しています。そのためカナダでの課外活動もサッカーが中心の生活を送っております。こちらの学校でもサッカークラブに所属し、週に 2 回だけですが、月曜日と金曜日の授業後に練習に出ています。間の火曜日から木



曜日は、学生は無料で利用できる学校のジムでトレーニングをしています。私の将来の夢は、サッカーの国際審判員になり日本国内や国際試合を担当する事です。日本でも選手と両立して活動を行なってきましたが、カナダでも週末は審判員として、カナダの州規模のリーグを担当しております。異国の地で異文化サッカーを学べるとても良い機会に毎週触れています。



【ホームステイについて】

私は、ホームステイに滞在しております。大きな一軒家の自分の部屋で暮らしていて、ホストマザーとその娘、ドイツ、トルコ、メキシコからの留学生と犬2匹と一緒に暮らしています。各自に部屋が用意されており、家にはシャワーとトイレがそれぞれ3つずつあるため、ほとんど待ち時間なく利用できます。私は、大学から紹介されたホームステイのエージェント会社から決められた家庭に滞在することになりましたが、他にも自分でホームステイサイトから滞在先を決めたり、インターネットでコミュニティーを探して一緒にシェアハウスをする人を見つけたりする方法もあります。他の留学生はほとんど会社を通さず自分で探していました。理由は、エージェント会社に決めてもらおうと、運が伴うからです。家のルールは各家によって異なりますが、私の家では週末のみ洗濯ができ、消灯の時間も 21:00 と決められています。

【休日の過ごし方】

試合のない休日は、街のカフェで勉強をしたり、友達とご飯を食べに出かけたりしております。隣にはアメリカがありフェリーで行けるため、たまに行くことがあります。つい最近は MLB の Seattle Mariners 対 Los Angeles Dodgers 戦を観にシアトルまで行きました。日本とは異なる街の雰囲気や交通機関、行き交う人との出会いなどの全てが、価値ある経験として記憶に刻まれます。



【城西大学生にひとこと】

ぜひ機会を掴んで留学に行ってください。日本は世界でも数少ない島国のため、海を渡らなければ他の内陸国のように外国に行き他文化や多言語に触れることができません。“井の中の蛙大海を知らず”状態で人生を過ごすのは勿体無いと思います。自分の行動が、投資が、考えが正解だったか否か分かるのは人それぞれ違うと思っています。志望する会社に入社できた時、結婚して家庭を持った時、社長になった時、もしかしたら終活をするときかもしれません。自分が行ってきた行動が正解だったかどうかを気にしていたらキリが無いので、僕は、アクションを大事にしています。親に借金をしてでも留学に来て、今まで持てなかった価値観や日本には触れられない国民性に出会えてよかったです。この文章を読んで、少しでも皆さんのアクションを後押しできたら嬉しいです。